



第 61 号 (通巻 76 号)

2010 年 6 月 19 日発行

新しい教頭先生 三杉賢太郎先生に聞く

The English translation of this article is available on www.jlsboston.org.

まず、出身地や生い立ちについて教えてください。

「福島県いわき市生まれですが、父が転勤族だったため、北は北海道から、南は三重まで各県を4, 5年おきに転々としていました。今は実家もいわきにあり、これからもいわきに住む予定です。」

どうして教師になろうと思ったのですか。また、教師の資質として大切なことは何だと思えますか。

「最初はそれほど強い興味をもっていたわけではありませんでしたが、教育実習で子どもたちのよさの一面にふれ、ぜひ職業としてやっていきたいと考えたことがきっかけでした。

少し気恥ずかしいですが、1人1人違う子どもたちとそれぞれどのようにかわかり、どのように伸ばしてあげたいか、ということを実現させようとする「熱意」ということになるのかなと思います。(まだ私も駆け出しです・・・資質についてどうのこうのいえる立場にありません)」

これまでに海外勤務の御経験はありますか。また、今回なぜ海外勤務を希望されたのですか。

「海外勤務は初めてです。自分が担任する子どもに帰国子女が増えてきました。その子たちへの対応の一助になれば、と考えたことが1つです。

また外から日本を見つめなおしたときに、何か子どもたちに役立てられるものがあるかもしれないと、考えたことも理由の1つです。」

ボストン日本語学校の印象はいかがですか。

「とても素直で、一生懸命に学習に取り組む子が多いなと思います。子どもたちの頑張りは、自分にも、とても刺激になります。」

先生は教頭先生としてとてもお若いと思いますが、ボストンに御家族はいらっしゃるのですか。

「先日やっとビザがもらえ、連れてくることができました。妻と6歳の息子、4歳の娘の4人家族です。確かに教頭としては若いかもしれませんが、実は外見ほど若くない(?)かもしれません。」

ボストンの印象、それからボストンにいるうちにやってみたいことを教えてください。

「とてもきれいな街並みに感激しています。実はボストンそのものについても勉強不足でありよく分かっていないので、まずはボストンってこんな街だよ、と子どもたちに教えられるように、いろいろ回ってみたいです。その後、足をのばしてアメリカ国内外にも行けるといいなと思っています。」

日本語学校のみんなが気になっていること:ふだん持ち歩いておられるリュックには何が入ってるんですか。

「内緒です。フフフ。」

最後に保護者のみなさんにメッセージをお願いします。

「器用な人間でないので、たくさんあちこちでご迷惑をおかけするかと思いますが、せっかくの御縁ですので、1つでも多く、学校や子どもたちのためにできることを増やしていけるようがんばります。よろしく願います。」

執行部新メンバーのことば

Greetings from New PTA Board Members

広報担当 ハードベック裕子

Hiroko Hardebeck, Public Relations (PR) Coordinator

執行部に参加させていただいてから早や2ヶ月が過ぎました。四月の第1日目に他の執行部の皆さんとの挨拶もそこそこに、PTA会報発行の大仕事にとりかかり、それに英訳を引き受ける新たな広報委員会のまとめも担当することになり、微力な私としてはこれは大変なことになったと内心冷や汗でした。そんなこんなで始まった「執行部稼業」ですが、もたもたと仕事をしている私に優しく惜しめないヘルプを差し伸べてくださる他の委員の皆さんのおかげで何とか今年度第1号を出すことが出来ました。英語版初版発行という歴史(?)もできました。・・・と思ったら、もう第2号の発行はあと2週間に迫ってる!

皆さんに楽しんで読んでいただけるような会報作りに心がけていきますので、どうぞよろしくお願ひします。

Two months have already passed since I joined the Japanese School PTA Board, and time really went by fast. I recall the first day I joined: before finishing my greeting to fellow PTA members, I had to start planning the first PTA Newsletter of the year with my publishing partner. In addition to that, I was appointed to an unexpected role, in-charge of the newly formed Communications Committee. “Can I do it all by myself? No! But I have to...” I secretly blamed myself for signing up for the PTA without knowing what I was about to be involved in. But my teammates and other board members have been so helpful and generous, so I could go to them when I have any problems. Finally, we were able to publish this year’s first PTA Newsletter in May. We made history as we also

published the English version for the first time. I sighed with great relief..... But the deadline for the next PTA Newsletter is already in two weeks!

I will be doing my best to make newsletters worth reading. Thank you very much for your support.



文化祭担当 庵原千代子

Chiyoko Ihara, Cultural Festival (Bunkasai) Coordinator

日本の伝統文化って美しい。23年前に日本を離れて年を重ねるごとにそう思うようになりました。アメリカに住んでいる子ども達に日本の文化や伝統に触れる機会を提供してあげたい。教科書や漢字テストだけではなく、楽しい体験を通して日本語を学んでほしい。言語を学ぶ時、文化的な背景が分かった方が学びやすい。そんな思いで文化祭のお手伝いをして来ましたが、なぜか執行部に入ることに。

今年日本語学校創立35周年という記念すべき年です。**文化祭も長く続けられたらいいなと思います。**

Japanese traditional culture is beautiful – This is what I have felt more and more strongly over the years since I left Japan 23 years ago. I have helped the Cultural Festival (Bunkasai) so far because I wanted to provide children who are living in the US the opportunity to get to know Japanese culture and traditions, and wanted them to learn Japanese not only through textbooks and Kanji (Chinese characters) tests, but also through fun experiences, and believed it would be easier for them to learn a language when they knew its cultural background. And then, I am not sure why, I joined the PTA board this year.

This year is the 35th anniversary of the Japanese Language School; a year to be commemorated. **I am hoping that we will be able to continue to have Bunkasai for years to come.**

クラス役員担当 コノリー朋子

Tomoko Connolly, Classroom Parent Coordinator

日本語学校には息子が年少の時からお世話になっており、今年で6年目となりました。このお仕事に興味がないかと打診されましたとき、そろそろ学校に何か恩返しをする時期ではないかと考え、お引き受けしました。他のPTA執行部の皆様とお仕事を始めてまだ1ヶ月も経っていませんが、今まで私の知らないところで、多くの保護者の方々が自分の時間を割いて学校のためにお仕事をしていただいていたということを目の当たりにし、驚きと同時にとても感動いたしました。

PTAの活動の全ては、私たち一人一人の**子どもたちがより良い学校生活を送れるように**するためです。せっかく与えていただいたこの機会、PTA会長の市村さんがいつもおっしゃる通り、楽しんでこのお仕事に取り組んでいきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

My Name is Tomoko Connolly and I am this year's classroom parent coordinator. My family has been a part of the Japanese Language School for six years. We started when my son was in *nensho*, the preschool class for three-year-olds. When people asked me to be this position, I thought it might be about time to do something for the school. That's why I decided to accept this position. Although it's been just about a month since I became a part of the PTA board, I am so surprised and impressed knowing so many parents have been working for the school in their private time behind the scenes. I think **the work the PTA does is all about for our children, so the children will be able to have a better time in the school.** Thanks to the help and advice from PTA president Mr. Ichimura, the tasks my fellow volunteers and I are doing are really a lot of fun. Thank you in advance for all your support.



会計担当 西山央美

Terumi Nishiyama, Treasurer

今年で娘が日本語学校に通い始めて3年目。今まで学校の先生方やPTA執行部、クラス役員の方々が企画実行していただいたイベント等にほとんど何も考えずに参加していましたが、今まで執行部の皆さんが**裏でどれだけの時間と手間をかけていたかを痛感**しています。まだまだ慣れずにご迷惑をかけることもあるかと思いますが、できるだけ皆さんのお手伝いができたらと思っています。保護者の皆さんには何かとお力添えいただくことが多いかと存じますが、よろしく願いいたします。

This is my daughter's 3rd year at the Japanese Language School. I have attended many events designed and hosted by the teachers, PTA, and classroom parents. **But I never realized until now how hard they work and how much time they give. I fully understand now** even though I've been a board member for less than a month.

I still might bother other members since I have just started, but I'm willing to help others as much as I can. I'll also be asking you parents for help. Thank you in advance for your cooperation.



下村博士講演会ウラ話

Backstage Talk

5月15日、ノーベル化学賞受賞者の下村脩ボストン大学名誉教授の講演会がありました。講演の前に、先生と奥様のお話を聞く機会がありました。お二人はその昔、子どもの日本語教育のために、プリンストン大学の教室を借りて少人数で日本語のクラスを始められたことがあったそうです。まさに、ボストン日本語学校発足と同じです。先生のお子様たちはあまり日本語を話さないそうで、今回の講演にあたり、「ボストン日本語学校の生徒

のひとりからきれいな日本語で手紙をもらい、とても感心しました」と話しておられました。

以上、レポーター、市村ラリーでした。

On May 15, a lecture was given at the Japanese Language School by Dr. Osamu Shimomura, Professor Emeritus of Boston University, and Nobel Prize winner in chemistry. Before the lecture, we had the opportunity to have a talk with the Professor and his wife. In the past, they rented a classroom at Princeton University and started Japanese classes for children. This was exactly how the Japanese Language School of Greater Boston began. Their children are not so fluent in Japanese, so they mentioned that they were truly impressed by a letter they received from one of the Japanese students from our school, written in beautiful Japanese for this occasion. (Larry Ichimura, PTA President)



ボストン日本語学校 創立35周年記念事業のお知らせ

The English translation of this article is available on www.jlsboston.org.

創立35周年記念事業実行委員会委員長 平山宗如
ご存知でしたか？ 今年日本語学校創立35周年を迎えていることを。

この1年を通して「35周年記念事業計画」なるものを企画しました。先日盛大に開催されました「大運動会」を皮切りに一年を通して様々な年間行事に便乗しながら、この一年、運営委員、教職員、保護者、園児、児童、生徒、みな一緒にお祝いしていきたいと思っております。皆様のご理解ご協力そして、ご賛同をお願い申し上げます。

テーマ：青い海。青い空。誇りと努力と夢の実現。

・35周年ブックフェア（10月9日）

・35周年記念誌発行（10月30日）

表紙デザイン、35周年ロゴ募集（〆切：9月3日）

・文化祭（10月30日）

35周年記念式典

「日本語学校の歩み」展示

35周年記念 TOTE 配布

・地域交流

メッドフォード市のイベントに参加：本校中高生有志
折り紙教室（6月19日）

International Festival 参加（11月上旬）

漢字検定のお知らせ

日時：11月13日(土)13時から

場所：日本語学校内教室

申し込み：2学期始めに告知予定

2010年度2学期前半カレンダー

8月	August	はづき 葉月
28日		二学期始業式
9月	September	ながつき 長月
4日		夏休みコンクール受付
11日		PTA保護者説明会
18日		幼稚部運動会 (予備日：9月25日、10月2日)
10月	October	かんむづき 神無月
9日		ブックフェア
16日		幼稚部秋祭り
23日		PTA総会
30日		35周年記念式典、PTA文化祭

編集後記

教頭先生のインタビュー如何でしたか？先生の初々しさと意気込みが伝わったでしょうか。(H. H.)
来週6月26日で日本語学校の一学期が終わりですね。ながーい夏休みを楽しんでください。さ、めいっぱい遊ぼつと。(O. Y.)